

登山前の準備

Step 1

入山前に登る山の情報を入手しましょう。

! 気象庁ホームページから火山の情報を入手することができます。



以下の項目を確認できます。

- 最新の火山情報
- 現在の警戒事項等
- 噴火警戒レベル

気象庁HP

気象庁 火山登山 検索



Step 2

登山時の装備・携行品

- タオル・マスク
(火山灰や火山ガスの吸引対策)
- ヘッドライト・懐中電灯
(降灰時の視界確保)
- 大きめのリュックサック・ヘルメット
(噴石からの身体保護)
- 携帯電話、携帯ラジオ
(緊急時の情報収集)
- 非常食・飲料水
(避難時の備え)



Step 3

登山届(登山計画書)を提出しましょう。

登山届は、万が一遭難した場合や火山災害で被災した場合の救助活動に活かされます。登山者の大事なマナーとして登山届を作成しましょう。入山予定日の10日前までに福島県警察本部に提出してください。また、登山計画を家族に知らせておくほか、登山口の届出箱への提出も併せて行いましょう。

福島県警察本部

福島県 登山届 検索



登山届は以下の方法で提出することができます。

郵送・FAX

〒960-8686 福島市杉妻町5番75号
福島県警察本部地域部「総合運用指令課」
FAX: 024-521-6480 ※登山届の様式はHPからダウンロード

電子メール(パソコン)

福島県警察本部[登山届の提出]のサイトから、電子メールを送ることができます。

山と自然ネットワーク「コンパス」

オンラインで登山届が出せる「コンパス」を利用して登山届を提出することができます。

コンパス 山と自然 検索

<https://www.mt-compass.com>

連絡先一覧/磐梯山火山防災協議会

福島県庁 災害対策課 TEL 024-521-7194
会津若松市役所 危機管理課 TEL 0242-39-1227
喜多方市役所 危機管理課 TEL 0241-24-5221
北塩原村 住民課 TEL 0241-23-3113
磐梯町 総務課 TEL 0242-74-1223
猪苗代町 総務課 TEL 0242-62-2111
会津坂下町 危機管理室 TEL 0242-84-1533
湯川村 総務課 TEL 0241-27-8800

登山の備え 磐梯山



磐梯山

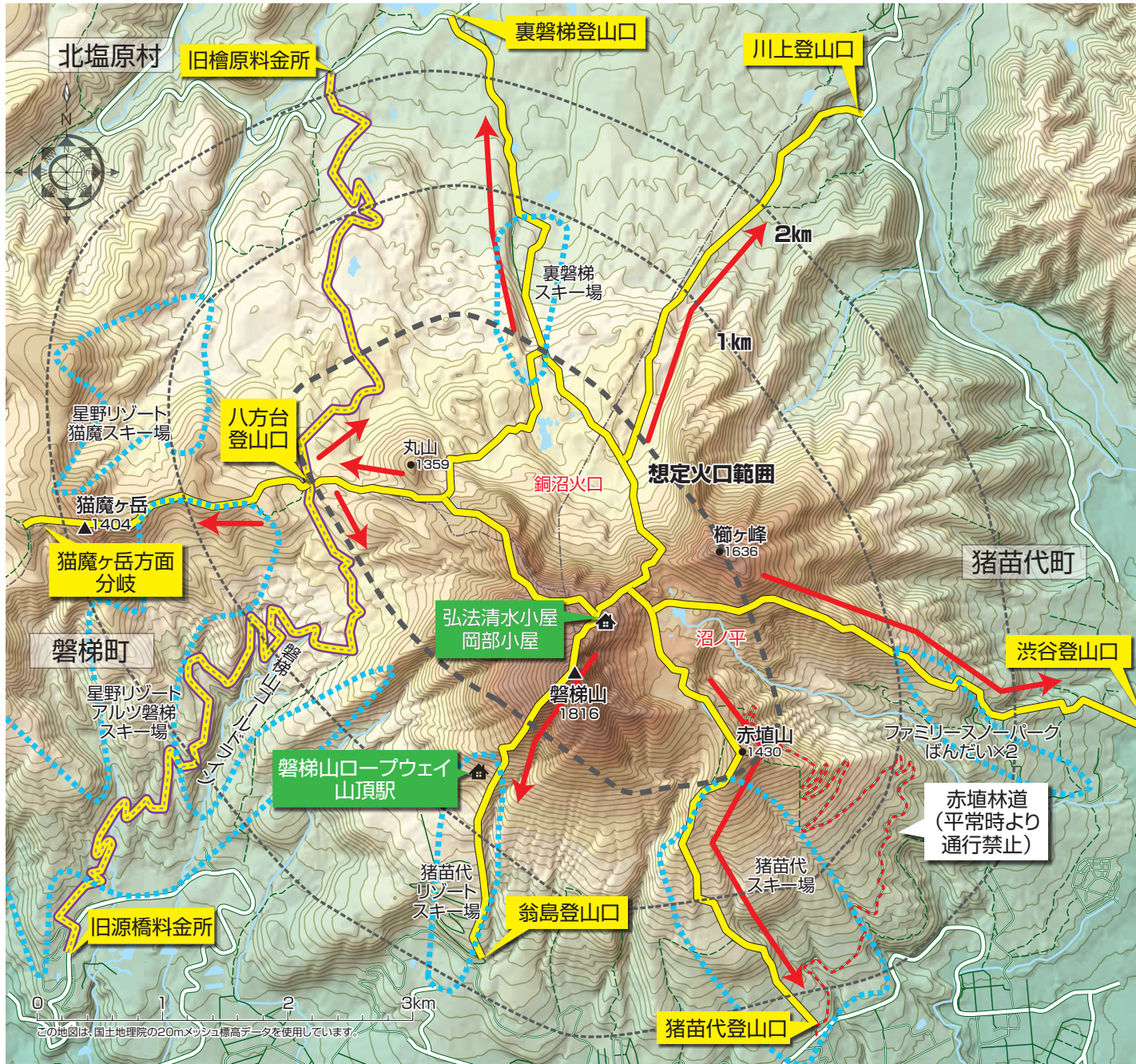
標高1816.2m。福島県のシンボルとも言える山。6つの登山口があり、初級者は八方台登山口がおすすめ。2011年には日本ジオパークに認定されました。

磐梯山は、気象庁が火山活動の状況を常時監視・観測している活火山です。

突発的に噴火が発生する可能性もあるため、登山や観光で訪れる際は、事前に十分な準備をして火山災害に備えましょう。

磐梯山火山防災協議会

火口周辺地域における避難経路



この地図は、国土地理院の20mメッシュ標高データを使用しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を使用した。(承認番号 平30情使、第1227号)

登山中に心掛ける行動



- 火口付近の様子に気を付ける。
- 火口の位置と風向きに気を配る。
- 登山中も携帯電話や携帯ラジオから入る情報に注意する。
- 噴気孔や火山ガスの溜まりやすい窪地・谷に近づかない。
- 異常な現象(噴気、臭気、地割れ、有感地震など)を発見した時は、安全な場所まで下山し、地元市町村や警察、气象台に通報する。

登山中に噴火が発生したら



- 噴火の場所を確認し、直ちに火口から離れる方向へ避難する。
- リュックサックやヘルメットで噴石や火山灰から身を守るとともに、近くの山小屋や岩陰などの身を隠せる所に一時避難する。
- マスクや湿らせたタオルで口と鼻を覆い、火山灰や火山ガスの吸引を防ぐ。

噴火警戒レベルとは、噴火時などにおける危険な範囲や必要な防災対応を5段階に区分したものです。この図は磐梯山の噴火警戒レベル2及びレベル3の警戒が必要な範囲、規制位置、避難経路等を示しています。

《警戒が必要な範囲》

レベル2(火口周辺規制): 想定火口から概ね1km

レベル3(入山規制): 想定火口から概ね2km

《登山道》

レベル2で通行規制 スキー場:

《磐梯山ゴールドライン》

レベル2で通行規制